



学校通信

夕陽丘 第12号



校長挨拶

祝卒業

～品性豊かな社会作りの担い手に～

校長 安松 秀



60期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この歴史と伝統のある本校で立派に卒業を修めこの日を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

近年の教育界は明治維新や戦後の学制改革に匹敵する大きな変革期を迎えています。本校は、不易と流行を的確に判断しながら知育・徳育・体育の普遍的教育原理をゆるぎなく堅持し、教育方針の3本柱として学力育成、自主・自律の育成、国際交流の推進を実行し、普通科と音楽科が併置されていることで一層豊かな生活体験ができる本校特有の恵まれた学習環境を活かして質量とも豊富で充実した教育活動を展開してきました。

その中で、皆さんは、勉学や部活動、芸術活動に真摯に取り組み大きく成長されました。

本校は母校愛に溢れる学校で、卒業生の母校愛には敬服の念を抱きます。この温かい母校愛の根源は、とりもなおさず先生と生徒、生徒と生徒との深く強い心の絆であり、その絆は豊かな高校生活から醸し出されます。本校は、学びの場としても生活の場としても大層充実していることを表しています。

皆さんは、その本校で主人公として3年間を過ごし、さらに、生活規律という秩序ある社会を構築する上で必要不可欠で、偽装や背信行為が横行する今日の社会状況から最重要の課題にも熱心に取り組みました。

現在は知の世紀であり知力がなければ勝負できないといわれます。しかし、社会の健全な発展に貢献する人材の条件としては、知力だけでは不十分で、知力を有益に活用する品性や自らが進取的に取り組む意欲または自発性、他の人と力をあわせることができる協同性、さらに国や地域の枠を超えたグローバルな視点も備わっていないと考えると考えます。

人材は資源の乏しいわが国において世界に誇る資源の一つですが、皆さんは本校の充実した教育活動の中で、世界に貢献する人材としての素養を涵養し、日本の貴重な資源となりました。本校で培った知力、意欲、協同、国際感覚と百年に及ぶ伝統・特色・本領である気品をもって品性豊かな社会作りのリーダーとして活躍されることを切に願います。

結びに、私にとって、教員生活締めくくりの3年間を皆さんと共にこの栄えある夕陽丘高校で過ごせたことは誠に幸せで教師冥利に尽きるものでした。ここに深く感謝申し上げ、60期生の皆さんのご多幸とご健康を心より祈念いたします。

.....

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

【第3学年】

卒業おめでとう！

第3学年主任 碓塚俊夫

60期生のみんな、卒業おめでとう！ 君たちは新しい世界へ飛び立ちます。夕陽丘時代とは比べものにならない厳しい世界です。しかし、大きな夢と可能性に満ちた世界です。拾った石が、気がついたらダイヤモンドに変わっていたなんてうまい話は、現実にはありえません。ダイヤモンドになるまで自分で磨くか、道端の石ころのままにほおっておくか、全ては君たち次第です。

君たちのこれからは、いろいろな選択肢が待ちかまえています。これまでの18年間の結果が現在の君たちです。これからの選択が、君たちの未来を作っていきます。縮こまらずに、のびのびと、いろいろなことにチャレンジして行って欲しいです。

「昨日より今日、今日よりあした」です。一度っきりの人生です。思いっきり生きて下さい。もっともっと大きな人間を目指して下さい。可能性を花開かせて下さい。君たちのこれからのなお一層の精進を期待しています。



60期卒業記念品
体育館校歌レリーフ

28日、卒業式予行後、校長・PTAの代表・清香会役員・その他大勢の人が出席され、除幕式が催されました。

卒業生代表の2組島添綾乃さん、7組塩見玲衣さんが紅白の綱を引くと大きな拍手がわき、輝くレリーフが披露されました。

金属板に本校15期卒業生で清香会(同窓会)副会長の揮毫による校歌がプリントされている豪華なレリーフです。

この寄贈により、各集会などで校歌を歌うときなど、便利に利用されることでしょう。

【第2学年】

心を満たして

第2学年主任 津村 知宏

いよいよ3年生です。最上級生としての覚悟はできましたか？3年生は、後輩の範となるべき存在であり、夕陽丘高校を代表する生徒です。また、自分自身を大きく成長させるチャンスです。前向きな姿勢でいれば、どんなに困難で苦しくても、きっと乗り越えられるでしょう。あと一年、全力で駆け抜けてください。

今までは、辛くても親なり教師なりが見守る中を歩んできました。でも卒業すれば、自分自身で「道」を作り、模索しながら進んでいくことが必要です。英語で言うならば、定められた「course」から、自分独自の「way」に切り替える時期です。そのためには、常にもう一人の自分と対話し、その情緒をうまくコントロールしましょう。時には我が儘な自分や逃げ出したい自分と出くわすかもしれません。そんな時でも、本当に自分にとって「何が大切なのか」を粘り強く問いかけましょう。

これからの「道」は思うように作れず、必死で探しても見つからないかもしれません。だからこそ、自分の持つ力を100%振り絞り、もう一人の自分に挑戦する一年にしましょう。そうすれば何かを掴めるかもしれない。一日一日では掴めなくても、努力を積み重ねることで、最後に思い出としての「道」が自ずと残るでしょう。そして、心が満たされれば、これからの「未知」を前進する活力となるでしょう。

心を満たして... 「make one's way」自分の信じた「未知」を進もう。

【第1学年】

努力は嘘をつかない

第1学年主任 岩元 健

先日、テレビで「闘うリハビリ」という番組を見ました。長島茂雄氏が脳卒中で倒れてからの鬼気迫るまさに自分と闘うリハビリに取り組む姿がそこにありました。他に右脳の大半を失い左半身は動かないと考えられていた18歳の青年が、リハビリの末に歩けるまでに回復している様子なども映し出されていました。人体の不思議とともに、人間の無限の可能性を感じました。脳の神経細胞は、ダメになった部分を避けて別の神経回路と接続しようとするようです。右脳を失った青年の場合も、運動時の脳を調べることで左側の体の動きを左脳が補っていると考えられると、番組は伝えていました。でもこのようなことは勝手に起こるのではなく、本人の動かそうとする懸命の努力がないと起こりません。

さあ、これから夕陽丘で2年生を迎えようとしている君達もまさに無限の可能性を秘めています。でもその可能性はリハビリと同じように、努力しないと開けてきません。かつてメジャーリーガーのイチローが不振の時、「もがいて苦しんでいると光が見える。いつか見えると思って何もしなければ一生光は見えない。だからもがくんだ。」と語っていました。天才と言われ常に冷静な印象を与えているイチローですら、陰ではもがき苦しむほど練習をしています。君達も学業にクラブ活動にもがき苦しむまで懸命に努力して下さい。きっと光が見えてくるはずです。

先の番組の最後に長島氏が、「なにくそっ、絶対に負けるものか。自分自身に絶対に勝つ。という気持ちでリハビリと闘った。リハビリは嘘をつかない。」と語っていました。君達も自分との闘いにチャレンジしてみよう、この夕陽丘の仲間と一緒に。努力は嘘をつかない。

【生徒指導部】

遅刻について

生徒指導部長 田口健司

遅刻は、勉強に対する気持ち・学校に対する気持ち・家での生活状態・マナーやエチケットに対する意識などと連動して起こります。われわれは、遅刻が多い生徒には何か大きな原因があるのではと考え、指導していきます。一人一人には遅刻を減らすことでいろいろなことを感じてほしい、それは、学校全体のよい雰囲気作りにつながる、と信じています。

年間の遅刻数は

4560(H15), 4751(H16), 4344(H17), 3857(H18), 4702 (H19.途中)。

今年度の遅刻数は、ここ5年間で最大です。下の数字を見て下さい。

H20.1

	1年 (280人)	2年 (280人)	3年 (276人)	全学年 (836人)
Oグループ(人)0回	140 (50 %)	76 (27.1 %)	69 (25 %)	285人 (34 %)
Aグループ(人)1~3回	48 (17.1 %)	82 (29.3 %)	60 (21.7 %)	190人 (23 %)
Bグループ(人)4~6回	36 (12.9 %)	37 (13.2 %)	30 (10.9 %)	103人 (12 %)
Cグループ(人)7回~	56 (20 %)	85 (30.4 %)	117 (42.4 %)	258人 (31 %)
全遅刻 (回)	871	1711	2120	4702回 5.6回/1人
Cグループ平均 (回)	11.2	16.3	16	
目標 (回)	582	838	952	2372回 2.8回/1人

年間の遅刻数で生徒を O・A・B・Cグループ に分けてみました。(終業式に渡される通知簿には1年間の遅刻数が記入されています。かならずチェックしてください)

目標の数値は Cグループの生徒が全員頑張って Bグループに入ったときの遅刻数です。総遅刻数が半分に減ります(4702→2372)。逆に言うと Cグループが頑張らないと学校全体の遅刻数が減らないということです。Cグループの生徒は“CからBへ”を生活の1つの目標として来年度頑張ってください。

また、Aグループはよし、Bグループはまあよし、なんです、**“AはOを、BはAを”**目指し、来年度を過ごして欲しいと思います。

Oグループは、本当にこの1年よく頑張ったと思います。全校生の3人に1人は1年間遅刻しなかったのです。1年生においては半分の生徒が1年間遅刻しなかったのです。すばらしいことです。是非、来年度も続けて Oグループ にいてほしい。

今年の生徒議会で生徒たちは自ら自分達のできることで『学校をきれいにすること』『マナーを守ること』『挨拶すること』『遅刻しないこと』を掲げてきました。われわれは大いに期待しています。生徒たちの強い意志をみたいと願っています。

【保健部】

教育相談室「あおぞら」あなたの1年間は、笑顔が多かった？（相談窓口は保健室内）

今年度始めの学校通信では、「心のかぜひきも早めの処置が必要です」と書いたのですが、あなたの心身の調子はいかがだったでしょうか？年度末になり、「あおぞら」からみた今年をふりかえってみました。

「泣きたいときは泣けばいい」泣く理由は、いろいろあると思います。うれし涙は感動や喜びごとの感情表現として、ジワーッと出てくることが多いようです。しかし、悔し涙は後悔や負けを認めたときに悲しみの表現として出てきます。いずれもどんな言葉よりインパクトがあると思います。保健室の扉を開けるなり涙をポロポロこぼした人や、暗い顔してうつむきながら入ってきて用件を話すより前に号泣した人、顔を覆って泣き続けた人などさまざまな泣き顔を見ました。何もいわなくてもアピールしているその姿は、何よりの心のメッセージだったのでしょうか。しっかり泣いて心の整理をして、自分なりの結論を見出してください。

「自分を大切にしてほしい」高校生の今だからできることをしたいと生徒はよく言いますが、それは、自分勝手な生活とは違います。やりたいことや好きなことなど自分にとって楽なことだけしていたらいいのではなく、少々の苦難も乗り越えられる体力と知力を備えてほしいと思います。自分を大切にすると、わが身をいたわるだけでなく、時には自分にとって厳しい選択も必要になってくるのです。やさしさは相手の言いなりになることだけではないことを知ってください。自分の意思をしっかり持った上で相手の気持ちを考えるようにしましょう。結果は後からついてくるのです。しんどいことは嫌だと避けるのではなく、前向きに後悔しない生き方を選んでください。

【進路指導部】

2年卒業生を囲む会 2 / 1 4 (木) 第6, 7限 実施

2年生全員を対象に分野ごとに卒業生に来てもらい、いよいよ本格的に始まる受験勉強について経験談を話してもらいました。先輩の貴重な体験談を聞いたことで、いまからするべきことが見えたようで、話を聞いた2年生のほとんどが目を輝かせて教室に戻ってきました。これからのがんばりに期待したいと思います。

	分野	卒業生	人数	教室
1	理系	大阪市立大学 (工) 武庫川女子大学 (薬)	39	3-1
2	経済 経営 商学	同志社大学 (政策) 関西大学 (法)	51	視聴覚
3	法学	同志社大学 (法) 関西大学 (法)	21	3-2
4	社会学	関西学院大学 (社会)		
5	文学	大阪外国語大学 (外国語) 京都外国語大学 (外国語)	89	学夕会館
7	短大 (看護除く)	立命館大学 (文)		
6	看護 医療	白鳳女子短期大学 (看護)	10	3-3
8	音楽	京都市立芸術大学 (音楽) 同志社女子大学 (学芸) 大阪教育大学院 (教育)	46	音楽室 3
9	公務員	大阪法律専門学校によるガイダンス	21	3-4
10	専門学校			

1年進路体験セミナー 2/1(金), 4(月), 5(火) 放課後16:00~17:15実施
 1年生の進路学習テーマ『職業を知る』に基づいて、上記3日間、分野ごとに大学・短大・専門学校に來校していただき、1年進路体験セミナー〔職業体験講座〕を実施しました。普通科全員と音楽科の希望者を対象に、最大3講座まで受講できる形で実施しました。生徒たちは、色々な分野に興味を持って臨んでくれました。実際に身体を動かして体験したことで、少し実感がつかめたのではないかと思います。これらの体験を、ぜひこれからの進路選択に活かしてほしいと思います。

1(金)	4(月)	5(火)
調理	栄養	動物
教師	公務員	公務員
看護医療	看護医療	建築土木
情報処理	保育・幼児教育	保育・幼児教育
芸術・デザイン	ファッション	美美容・メイク・エステ
声優	音響・放送・芸能	音楽
心理カウンセラー	福祉	心理カウンセラー
国際ビジネス	語学・国際ビジネス	芸術デザイン

1講座受講 151名 2講座受講 61名 3講座受講 24名

【音楽科】

・・・12月以降の音楽科行事報告・・・

- 12月22日(土) 鑑賞会：劇団四季ミュージカル「オペラ座の怪人」
 12月23日(日) 第21回第5ブロック音楽会(於：ヴィオーラホール)
 音楽科1年生が和楽器(箏・三味線)、普通科音楽選択生が合唱で参加しました。
 ブロック音楽会には、他に吹奏楽部、合唱部が出演しています。
 12月25日(火) ランチタイムコンサート(於：大阪府教育センター)
 研究フォーラム昼休みのロビー。合唱と管弦打アンサンブルで、クリスマスソング等を演奏しました。
 1月25日(金) 近畿東海地区公立音楽高等学校連絡協議会
 公開授業として、音楽科全生徒が、合唱、オーケストラの演奏をしました。
 3年生は、この演奏が夕陽丘最後の授業となりました。
 1月28日(月) 特別公開講座「義太夫節の魅力」(太夫：竹本相子大夫氏 三味線：鶴澤清丈氏)



人形浄瑠璃(文楽はその一派)における語りと音楽である浄瑠璃「義太夫節」その魅力を、素晴らしい実演とユーモアを交えた説明で、わかりやすく伝えていただきました。

2月1日(金) 第3回大阪府伝統文化教育推進協議会(公開授業)

「我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業」のひとつとして実施されている、ハワイ・プナホウ高校との第3回テレビ会議「海を越えたコンサート」に向けたリハーサル風景を公開授業として見ていただきました。

2月 2日(土) 第137回ピッコロコンチェルティスタ(学内演奏会)



2月 8日(金) ハワイ・プナホウ高校テレビ会議(第3回)「海を越えたコンサート」

プナホウ生徒の詞に夕陽丘生徒が作曲し、和楽器用にアレンジ。4つの班がインターネットを通じて合同で演奏。最後に、双方の生徒が歌を歌い、交流を深めました。

2月 9日(土) 3年生(60期生・音楽科11期生)演奏会

昨年からはまった、3年生だけによる学内演奏会。大雪の中、ヴィオーラホールは熱気に包まれました。

【国際交流委員会】

前号で2007年度の間接報告を行いました。今年度だけで9回の交流、7カ国の人々と交流を行いました。2月に行った交流、国際交流委員について、また4月の交流予定をお伝えします。

香港・李福慶高校

2月には、香港の李福慶高校から21名の生徒が夕陽丘を訪れ交流しました。夕陽丘高校との交流を中心に日本を訪れ、3日間の交流を行いました。これまでの交流に足りなかった「生徒と生徒の直接交流」の時間をより多く取り入れ、さまざまな活動をしました。

・ 事前のメール交換

訪問する生徒と夕陽丘の生徒が事前にメール交換をして、簡単な自己紹介などをして交流をしました。また、できるだけメール交換をしていた生徒と日本滞在中も時間を過ごすようにしました。

・ 校外学習

お互いの学校の交流の目的が「英語をつかってコミュニケーションをとる」ということで、学校の外での交流にも取り組みました。大阪城公園に行って、大阪城天守閣を見学し、その後なにわクルーズに参加して大阪の街を船から楽しみました。

・ スピーチコンテスト

英語ライティングの授業で当初から予定したスピーチコンテストですが、今回の香港の学校との交流のテーマのうちの1つ『環境問題について』にあわせて、冬休みの宿題で2年生全員に原稿を書いてもらい、スピーチコンテストを行いました。コンテストの上位2人が、香港・李福慶高校の歓迎会の時に披露しました。李福慶高校の生徒の発表もあり有意義なものになりました。

・ 昼食

今までは外国からの学校が訪問しても、歓迎会や授業など限られた時間の中で生徒同士がゆっくり話をする間がなかったですが、今回から食事を同じ場所ですることによって、テーマや周りを気にすることなくフリートークが楽しめたようです。

国際交流委員

今年度1・2年生のクラス役員に国際交流委員を設置しました。行事があるごとに、司会や運営、また交流の中心となって活躍してもらいました。来年度以降もより一層活躍してもらうことを期待しています。

台湾・華江高級中学

2006年に本校を訪問した台湾の華江高級中学を、今年の10月に1年生(新2年生)が修学旅行で訪れます。その華江高級中学の生徒が4月に夕陽丘を訪問することになりました。お互い行き来する交流は夕陽丘にとっては初めてのことです。1年生(新2年生)のみなさん、この交流を実りあるものにしていきましょう!

【部活訪問】

こんにちは！茶道部です。今年は大いにがんばりました。



学校の中で、騒々しさから離れたひとときの癒しの空間を味わえるなんて、素敵だと思いませんか？私達茶道部は、週1回ですが落ち着いて「和」の中に身をゆだねることができます。さらに、お抹茶との出会い、和菓子との出会いも新鮮なものがありますが、お辞儀の仕方から立ち居振る舞いに至るまで、日本の良さを実感できるのです。こんな普段とは違った空間を体験してみたいと思いませんか？

今年は恒例の夏休み中の淡交会大阪東支部主催の学校茶道のつどいへの参加と、文化祭でのお茶会だけでなく、学校説明会では近い未来の後輩向けにお茶会を、そして国際交流にも活動の場を広げ、台湾や中国の方たちにもお茶を楽しんでいただきました。お茶会ではより親しみを持っていたらこうと、日本語だけでなく中国語の個人指導を受けてお客様にご挨拶させていただくなど、部員10名（1年生5名、2年生5名）が一丸となつてがんばりました。

3月末にはリーガロイヤルホテルでの茶道裏千家淡交会の近畿地区大会に参加し、坐忘齋お家元をお迎えしてお茶会で立礼のお手伝いをさせていただけるという光栄な機会にも恵まれ、よりいっそうの気合を入れてお稽古に励んでおります。

そんな活動ができますのも、夕陽丘高校出身で大先輩の先生の懇切丁寧なご指導はもちろんのこと、清香会事務局の方々のありがたいご協力を頂いているおかげだと感謝しております。

結果は後からついてくると申しますが、感心するのは、茶道部員たちのクラブ活動に対する熱心な姿勢です。夕陽丘高校生だからできる「気品あるお点前」だと自画自賛しております。今後ともよろしく願いいたします。（茶道部顧問）



【 編集後記 】

年4回の発行に追われ、1年はあっという間にたつてしまいましたが、昨日は、卒業生の一人が「3年間は短かった」と言っていました。彼女の3年間は充実していたのでしょうか。

その次に「もっと夕陽丘で勉強したい」とも言っていたので、この3年は満足するものだったのでしょうか。卒業後も充実した日々を皆さんが送られることを祈っています。

